

様式第6号（第18条関係）

令和6年度 宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和7年5月16日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市清武町今泉甲 2694 番地 3
名 称	清武地域まちづくり協議会
代表者の氏名	会 長 落 合 善 典
電 話 番 号	0 9 8 5 - 8 4 - 5 2 0 0

令和6年6月14日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金について、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

1 添付書類

- (イ) 事業実施報告・収支決算書
- (ロ) 事業別収支計算書
- (ハ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (ニ) 備品管理台帳の写し
- (ホ) 地域協議会の意見書 [事業実施報告]

令和6年度 事業実施報告・収支決算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

1 総括

当初計画していた8事業について、おおむね実施することができた。清武地区総合文化祭実行委員会との共催による「清武地区ふれあい文化祭」を実施した。昨年の反省を踏まえ、駐車場を交流センターの芝生広場を利用したことで多くの方の参加があった。また、環境美化事業のひまわり植栽では、フォトスポットやゲートの設置をしていたが、害虫が大発生し花の時期が短期間となった。事業の課題も残ったが、地域にあった事業の取組を今後も継続していきたい。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	2,760,968	2,760,968	0	
繰越金	1,058,628	1,058,628	0	
自己資金	0	0	0	
協賛金	0	0	0	
負担金	115,000	83,100	▲ 31,900	みかん狩り参加費 (83,100円)
補助金	0	0	0	
解約払戻金	0	0	0	
雑収入	100	14,147	14,047	飲み物売上 (13,310円) 銀行利息 (8月126円・ 2月711円)
合計	3,934,696	3,916,843	▲ 17,853	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	防犯・防災推進事業	14年目	615,000	478,721	▲ 136,279	
環	環境美化事業	12年目	515,000	417,247	▲ 97,753	
健	「清武地区のんびり歩こう会」開催事業	14年目	152,000	106,675	▲ 45,325	
伝	「清武かるた」普及事業	13年目	171,500	145,802	▲ 25,698	
他	「十九の丘」みかん育成体験事業	13年目	192,000	174,515	▲ 17,485	
他	清武地域まちづくり協議会だより発行事業	15年目	202,000	149,892	▲ 52,108	
他	まちづくり協議会管理運営事業	15年目	1,460,196	1,012,147	▲ 448,049	
他	銀杏フェスティバル事業	4年目	627,000	468,918	▲ 158,082	
繰越金				962,926		
合計			3,934,696	3,916,843	▲ 17,853	

3 各事業実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防犯・防災推進事業 (地域安全活性化部会)	実施年数	14年目																		
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし																			
地域魅力発信プランとの関連	3 えがおいっぱい～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・安全安心なまちづくり ・地域住民・世代間交流の場づくり																				
目的 (期待される効果)	交通安全や青少年の健全育成、防災に関する住民意識の向上に努めるなど、安全・安心な地域をつくることを目的とする。																				
事業内容・手段	<p>(1) 安全安心パトロール等の実施</p> <p>【時期】 通年 【場所】 清武中学校区(黒北の一部を含む) 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心パトロール車で、音声テープを流しながら地域内を巡回した。 ・週4回(月・水・金・土)15時～17時に実施した。 ・夜間巡回(水曜日/月1回)19時～20時に実施した。 ・宮崎南地区少年補導員連絡会が(第1土曜日)17時～18時に実施した。 ・「愛の一声・あいさつ運動」年4回(4月・6月・9月・1月)に協力した。 ・地域安全運動に併せて、(4月・8月・10月・12月)ベアーズモール清武で街頭キャンペーンを実施し、チラシや防犯グッズを配布して啓発した。同時に隊員募集のチラシも配布し、呼びかけを行った。 ・5月1日(水)防犯教室(マクドナルド主催)が清武小で行われ参加した。 ・12月18日(水)年末年始発隊式に参加し、ハンズマンで啓発活動を行い、青パトに乘車して、小学生によるマイク広報活動を行った。 ・交流センター利用登録団体の地域貢献活動として、青パト乗車体験や街頭キャンペーンに参加してもらった。 ・7月13日(土)きよたけ郷土祭りに、青パト隊として行列に参加した。 ・青パト隊員新規資格取得者及び更新対象者向け講習会を6月27日(木)・2月6日(木)に実施した。 <p>(2) 災害図上訓練(DIG)の実施</p> <p>【時期】 令和6年7月25日(木) 【場所】 清武地区交流センター 学習室 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、消防署、地元消防団等の協力で実施した。 ・木原地区(上木原、黒坂、永田、新町、下中野)5地区の参加。 ・地区内の危険箇所、避難所、AED設置場所等の確認、チェック(地区内の地図に質問事項に沿って記入した。グループ討議後に発表した。 ・作成した図面は、各自治会の要望に応じて対応した。 																				
事業費	478,721円																				
対象者	清武地域住民																				
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>隊員</td> <td>391人</td> <td>328人</td> </tr> <tr> <td>準隊員</td> <td>20人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>一般参加</td> <td>40人</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>44人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>495人</td> <td>408人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度	令和5年度	隊員	391人	328人	準隊員	20人	23人	一般参加	40人	40人	スタッフ	44人	17人	合計	495人	408人
年度	令和6年度	令和5年度																			
隊員	391人	328人																			
準隊員	20人	23人																			
一般参加	40人	40人																			
スタッフ	44人	17人																			
合計	495人	408人																			
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・特にアンケートは行っていないが、地域の方から青パト巡回が子どもの見守りや犯罪等の抑止につながっており、安全で安心なまちづくりになっているという話を聞いた。 ・小学生によるマイクでの広報活動は、反響が大きかった。(災害図上訓練(DIG)のアンケート) ・人の心(避難)をさせることが大事。 ・地震、災害のためになる話聞いて良かった ・よい訓練になりました。できれば小、中学生にも実施してもらいたい。 ・災害箇所の現地での訓練も関心がある。 ・自治会での防災訓練(避難訓練、起震車体験、煙体験、炊き出し、AED、防災用具の点検等)行っている。 																				

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	地域住民の防犯、防災の関心は高く、安全安心パトロールやDIGなどの取組にも協力的である。	広報	⑤事業の周知	B	B	広報紙に活動報告など掲載して周知を図るが、広報紙を見ない人もいるため、より積極的に努めたい。	
	②住民の参加	B	B	地区により地区民の年齢層が違ふ。若年層にも積極的に参加してもらい、何らかの工夫が必要である。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	A	広報紙を見ない人には、FacebookやLINEを発信していることを伝え興味を持ってもらうように努めたい。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域の見守り活動が地域住民の安全安心につながっており、まちづくり協議会の取組として妥当である。			⑦住民の満足度	A	A	実際に何か起きたときに、訓練をして良かったと思われるよう、活動を住民に理解してもらうことが大切だと思う。
	④各種団体との連携	A	A	南警察署、交番、安全協会、青少年育成協議会、少年補導員連絡会、消防署はもとより地元消防団とも連携して取組んでいる。	事業継続の必要性		④ 無			
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域を見守る青パトの重要性が天災や人災の時にあって良かったと思われる活動が重要だ。 年末年始の地域安全運動にあわせて、小学生がいっしょに啓発チラシ等を配布、青パト車に同乗してマイク広報をするイベントに参加した。新鮮であり今後の活動にもできれば取入れていきたい。 								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済		
		<意見への対応>								
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済		
		<意見への対応>								

[2] 環境に係る事業

事業名	環境美化事業 (環境福祉部会)	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>1 はないっぱい～心が豊かになるきれいなまちへ～</p> <p>3 えがおいっぱい～人と人とがあふれる笑顔があふれるまちへ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑があふれる美しい景観づくり ・環境美化意識の啓発 ・地域住民・世代間の交流の場づくり 														
目的 (期待される効果)	地域住民と協働して、地域の活性化や花いっぱいのまちづくりを推進することを目的とする。														
事業内容・手段	<p>(1) 環境美化活動の実施</p> <p>【時期】 令和6年8月～令和6年12月</p> <p>【場所】 清武町木原地区永田</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月18日(日)、ひまわり畑周辺の草刈り(種まき準備のため)を実施した。 ・8月24日(土)にひまわりの種まきを実施した。 ・10月17日(木) フォトスポット、ゲートを設置した。 ・10月19日(土)ひまわり畑周辺の草刈り(見ごろ前)を実施した。 ・10月23日(水) 宮崎市花のまちづくりコンクールで【団体活動部門】審査員奨励賞を受賞した。 														
事業費	417,247円														
対象者	清武地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>23人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>72人</td> <td>71人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>95人</td> <td>83人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 花を見に来られた来場者の人数は、把握していない</p>			年 度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	23人	12人	スタッフ	72人	71人	合 計	95人	83人
年 度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	23人	12人													
スタッフ	72人	71人													
合 計	95人	83人													
住民の声(アンケートの結果等)	<p>・特にアンケートは行っていないが、今年は異常気象や害虫被害があり開花の期間が短かった。フォトスポットでは、多くの方が写真に収められていた。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	アンケートは行っていないが、来場者から「毎年楽しみにしています」との声が多く聞かれるなどニーズがある。	広報	⑤事業の周知	A	A	今年度は、生育が遅れ、急に開花が始まり、テレビ、新聞社に連絡してあったが、害虫により花がダメになり取材が間に合わなかった。	
	②住民の参加	A	A	今年も一般の方や交流センター利用者、各種団体に参加してもらい年々参加者が増えている。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	魅力発信プランの「花と緑があふれる美しい景観づくり」に合った事業であり、まちづくり協議会の取組として妥当である。	事業の必要性	⑦住民の満足度			B	A
	④各種団体との連携	A	A	今年も交流センター利用者、中学生ボランティア、宮崎大の学生の参加があった。今後も更に呼びかけて連携を深めていきたい。			事業継続の必要性		⑨・無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 今年写真スポットのためにゲートを3個作り設置したが、見学者が多くなる前に花が害虫の被害を受けてしまった。 害虫の大発生、農家の代表の方に駆除用の農薬散布の確認をして了承を得たが全農家の方に確認が必要となり今後の課題として残った。 								
地域協議会からの意見への対応	<意見への対応>						対応	未・済		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済		
		<意見への対応>						対応	未・済	

[3] 健康づくりに係る事業

事業名	「清武地区のんびり歩こう会」開催事業（文化健康部会）		実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	2 はらいっぱい～お腹も心も満たされるまちへ～ 3 えがおいっぱい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・地域住民・世代間の交流の場づくり ・住民同士で語り合う場づくり ・健康増進															
目的 (期待される効果)	住民の体力づくりと健康増進を推進し、地域住民の交流や健康づくりに対する意識を高めることを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「清武地区のんびり歩こう会」の開催 【時期】 令和6年12月1日(日) 【場所】 清武総合運動公園周辺 【内容】 ・清武総合運動公園～今泉神社～清武総合運動公園(5km)、清武総合運動公園内(1.2km)の2コースを設定した。 ・丸目研修センターをトイレ休憩所として利用した。 ・ゴール後にぜんざいのふるまいを行った。															
事業費	106,675円															
対象者	清武地域住民															
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>86人</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>38人</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>124人</td> <td>155人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	86人	93人	スタッフ	38人	62人	合計	124人	155人
年度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	86人	93人														
スタッフ	38人	62人														
合計	124人	155人														
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区回覧版で知った(51%) ・コースが良かった(82%) ・健康づくりのため参加した(48%) ・できるなら参加したい(93%) ・たいへん楽しく過ごせた(87%) (その他の意見) <ul style="list-style-type: none"> ・家族でもゆっくり歩けたので、いつもとは違うふれ合いができました。 ・中学生のボランティアの方が一生懸命誘導して下さり感激しました。 ・係の方がごみ拾いをされながら歩かれていたことに感動しました。 ・毎年同じコースなので、別のコースの年もあるといいです。 ・初5kmでしたが、子供のあきらめない姿が見れてよかったです。 ・一人参加で不安でしたが、中学生のボランティアの人が声かけてくれて一緒に歩いたこと、とっても嬉しかったです。 ・継続してください。 															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	健康づくりや自然体験、気分転換になる等の意見があり、楽しみに開催を待っている人が多い。	広報	⑤事業の周知	A	A	自治会や清武町域の小中学校、近隣の公共施設等にチラシを配布した。また、広報紙にも情報を掲載した。またまちづくりの事業実施時に、参加者にチラシを配布した。
	②住民の参加	A	A	家族での参加も多かった。高齢者の参加も増えている。中学生のボランティアも参加者と良い交流ができていた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	魅力発信プランの「地域住民・世代間交流の場づくり」の取組に合った事業であり、妥当である。		⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	宮崎市さんさんクラブ清武地区連合会と共催、清武中学生のボランティアの参加、行政によるウォーキングコースの草刈りをお願いした。			事業継続の必要性		⑦・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・5kmのコースで丸目研修センターを休憩所として利用する時に少し遠回りになるが安全面に配慮して横断歩道を利用するようにした。 ・日向夏ドーム（屋内球技場）を借りたので、天候に左右されずに安心して実行できた。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>								

[4] 伝統文化に係る事業

事業名	「清武かるた」普及事業 (文化健康部会)		実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	3 えがおいっぱい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・伝統文化の継承 ・地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	清武町の伝統・文化・名所旧跡などを知り、人との交流等を通して郷土愛を育み、地域を活性化することを目的とする。															
事業内容・手段	<p>(1) 「第12回園対抗かるた大会」の開催 【時期】 令和7年1月30日(木) 【場所】 宮崎市清武体育館 格技場 【内容】 ・「清武かるた」を使用して競技を行った。 ・年長児全員による競技を行なった。</p> <p>(2) 「清武かるた遊び」の支援 ①清武地区ふれあい文化祭 【時期】 令和6年11月3日(日・祝) 【場所】 清武地区交流センター 和室 【内容】 「清武かるた」を使ってかるた取りを行った。 「清武かるた」の場所当てクイズを行う。 ②安井息軒梅まつりのかるた大会の審判協力 【時期】 令和7年2月11日(火・祝) 【場所】 安井息軒旧宅 【内容】 ・かるた大会の審判、かるた遊びの補助として協力</p>															
事業費	145,802円															
対象者	①清武社会福祉会所管の7保育園児・その他の園児 ②清武地区ふれあい文化祭、安井息軒梅まつり参加者															
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>172人</td> <td>103人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>83人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>255人</td> <td>140人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※活動参加者の延べ人数</p>				年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	172人	103人	スタッフ	83人	37人	合計	255人	140人
年度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	172人	103人														
スタッフ	83人	37人														
合計	255人	140人														
住民の声(アンケートの結果等)	<p>各園のアンケート調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員参加できたのはよかった。最初は読み手の声が聞こえなかったが、拡声器になってからは、よく聞こえた。 ・年長児同士、他園との交流ができ楽しんでいたので、来年度もぜひ開催していただきたい。 ・各園が集まり全員で一つのことに、集中する空気感はとても貴重な体験だったと思います。 ・「かるた遊び」、文字への興味、郷土への愛着などいろいろなことが育まれる大会だと思います。 ・清武町の歴史を知るのにも良いと思います。 ・寒いので防寒対策があったらと思いました。 ・子供用のトイレスリッパを用意しても良いと思いました。 															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各園への、アンケート調査からも、日頃から「かるた遊び」を行っており大会を楽しみにしていることがわかる。	広報	⑤事業の周知	B	B	各園への周知は的確にされている。広報紙やLINE、Facebook等で実施の様子を知らせた。
	②住民の参加	A	B	園児対象のため参加者は限定されるが、保護者の見学応援も見られる。より多くの住民の参加もできるとよい。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	魅力発信プランの「伝統文化の継承、地域住民・世代間の交流の場づくり」という取組に合った事業であり、妥当である。	⑦住民の満足度				A
	④各種団体との連携	A	B	清武社会福祉会、安井息軒顕彰会と連携した。			事業継続の必要性		(有) ・ 無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数が多いので、大会会場、待機場所の配置、審判などのスタッフの確保などに努めた。 ・年長児全員が参加ということでバスを利用しスムーズな送迎ができ良かった。 ・かるたを読む時のハンドマイクの調整がうまくいかず、今回は拡声器を用意したいと思う。 								
地域協議会からの意見への対応	<意見への対応>							対応	未・済
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>							対応	未・済
<意見への対応>							対応	未・済	

[5] 地域教育に係る事業

事業名	「十九の丘」みかん育成体験事業 (地域安全活性化部会)		実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成24年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	2 はらいっばい～お腹も心も満たされるまちへ～ 3 えがおいっばい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・地産地消の推進 ・食育 ・特産物のPR ・地域住民・世代間の交流の場づくり															
目的 (期待される効果)	果樹生産に携わる人々の苦労や勤労の大切さを知り、収穫の恵みに感謝するとともに、郷土の特産物を知ってもらうことを目的とする。															
事業内容・手段	(1) 「十九の丘」みかん育成体験の実施 【時期】 令和6年9月28日(土) 【場所】 清武町大久保 「十九の丘」みかん団地 【内容】 ・9月21日(土)みかん団地駐車場の草刈りを実施した。 ・園主が日向夏みかん、極早生みかんの状態を説明をした。 ・日向夏の袋かけは、生育が悪いため実施しなかった。 ・極早生みかんの収穫体験を行った。															
事業費	174,515円															
対象者	清武地域住民															
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>278人</td> <td>270人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>32人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>310人</td> <td>306人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	278人	270人	スタッフ	32人	36人	合計	310人	306人
年度	令和6年度	令和5年度														
一般参加者	278人	270人														
スタッフ	32人	36人														
合計	310人	306人														
住民の声(アンケートの結果等)	(みかん狩りに参加した理由) ・みかん狩りをしてみたい。 ・みかんが好きだから。 ・楽しそうな内容だから。 ・家族や友達と何か楽しい行事を一緒にした。 (十九の丘は知っていますか) ・初めて知った。 ・土地名は知っている。 (その他の意見) ・はさみを持ったまま、子どもが走っていたのが気になりました。(初めの説明で、諸注意としてもらうとイイかもです。) ・WEBで申込した後に、申込できたかなど、場所に関するメールがなくちゃんと申込できているか不安だった。 ・とても楽しく、まちづくり協議会の方やボランティアの学生さんのおかげで楽しめました。 ・継続して行ってほしいイベントです。 ・ボランティアの学生さん(清中)が袋を持ってくださってすごく助かりました。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	参加者のアンケート調査により、毎年開催してほしいとの意見が多かった。	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシを自治会、保育園、幼稚園、各小中学校に配布し、近隣の公共施設等にも設置した。
	②住民の参加	A	A	親子の参加、地域の地区民への周知も含め多くの方々に参加してもらっている。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	継続して実施しており、地域の特性を活かした素晴らしい取組である。		⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	地元農家の理解や交流センター利用者の参加、清武中学校、学生ボランティアの協力を得て実施している。			事業継続の必要性		(有) ・ 無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時期、募集の形態、結果的には成功である。 ・ 参加申込みフォームからの申込が多く、今後受付開始日、時刻の設定の必要性があった。 ・ 毎年、続けてきており、まちづくりの事業を知ってもらうことにつながる。 							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>								
	<意見への対応>						対応		未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>								
	<意見への対応>						対応		未・済

事業名	清武地域まちづくり協議会だより発行事業（広報部会）	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	1 はないっぱい～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2 はらっぱい～お腹も心も満たされるまちへ～ 3 えがおいっぱい～人と人とがふれあい笑顔があふれるまちへ～														
目的 (期待される効果)	まちづくり協議会の組織・活動を周知し、まちづくり事業への参加を促すことを目的とする。														
事業内容・手段	(1) 広報紙「清武地域まちづくり協議会だより」の発行 【時期】 3回/年度内（7月・12月・3月） 【部数】 A3両面カラー印刷 7,000部（1回）・6,500部（2回） 【内容】 ・事業案内、事業活動報告などそのほか地域の情報も取り入れて紙面づくりを行った。 【配付方法】 ・自治会加入世帯は、自治会を通じて全戸配付した。 ・自治会未加入者世帯については、新聞折込などで周知を図った。 ・清武総合支所や学校、銀行、公共機関等に設置をお願いした。 ・近隣のまちづくり協議会推進委員会にも送付した。お互いの取組を知る機会につながっている。														
事業費	149,892円														
対象者	清武地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>— 人</td> <td>— 人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>17 人</td> <td>17 人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17 人</td> <td>17 人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	— 人	— 人	スタッフ	17 人	17 人	合計	17 人	17 人
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	— 人	— 人													
スタッフ	17 人	17 人													
合計	17 人	17 人													
住民の声（アンケートの結果等）	・特にアンケートは行っていないが、12月発行（43号）の反響が大きく「次を楽しみにしています。」との声がたくさん聞かれた。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	事業の事前告知や報告を掲載することで、まちづくり協議会の活動がわかるとの声があった。	広報	⑤事業の周知	A	A	まちづくりの各事業案内や活動報告をすることで、活動を知ってもらいきっかけ、PRにつながった。
	②住民の参加	A	B	地域にある宮崎学園短期大学や国際大学の学生が広報紙作成に積極的に参加した。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり協議会自らの事業等について広報する取組であり、妥当である。	事業の必要性		⑦住民の満足度	A	B
	④各種団体との連携	A	A	自治会を通して、各戸配付、各公共施設等にも設置し協力をいただいた。近隣のまちづくり推進委員会等にも送付した。		事業継続の必要性	⑨・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> ・学生に呼びかけボランティアで、活動協力してもらった。紙面づくりに若い世代の意見を取り入れ、交流を深めることにもつながった。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>						対応		未・済
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応		未・済
	<意見への対応>						対応		未・済

事業名	まちづくり協議会管理運営事業 (事務局)	実施年数	15年目															
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし																
地域魅力発信プランとの関連	1 はないっぱい～心が豊かになるきれいなまちへ～ 2 はらいっぱい～お腹も心も満たされるまちへ～ 3 えがおいっぱい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～																	
目的 (期待される効果)	住民が主体のまちづくりに取り組み、まちづくり協議会の更なる発展につなげることを目的とする。																	
事業内容・手段	<p>(1) 事務局備品の整備と管理及び円滑な事務局運営の実施 【時期】 令和6年4月1日～令和7年3月31日 【場所】 清武地区交流センター内 事務局 【内容】 ・運営委員会、各部会等の事務連絡や日程調整を図った。 ・備品整備を行い事務作業の効率化を図った。 ・青パトの巡回スケジュール計画、日程調整等を行った。</p> <p>(2) 玉入れ競技大会への参加 【時期】 令和7年2月8日(土) 【場所】 加納地区交流センター 【内容】 ・清武総合運動公園が使用できなかったため、清武SOKKENマラソンリレー大会が玉入れ競技に変更となった。</p> <p>(3) リーダー育成研修の実施(H27年度～9年目) 【時期】 令和6年7月19日(金)～20日(土) 【場所】 八代市千丁町 千丁校区まちづくり協議会 【内容】 ・県外視察研修を行った。 ・若い世代、人材が地域おこし隊として活躍されている。 ・自主財源の運用</p> <p>(4) 桜植栽管理事業(H31年度・令和元年度～5年目) 【時期】 令和6年7月8日(月)、令和6年11月19日(火) 【場所】 荒平山森林公園の一部 【内容】 ・桜植栽場所の草刈りを行った。</p>																	
事業費	1,012,147円																	
対象者	清武地域住民																	
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4部会</td> <td>144人</td> <td>176人</td> </tr> <tr> <td>役員会</td> <td>161人</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>定期総会</td> <td>43人</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>348人</td> <td>375人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	令和6年度	令和5年度	4部会	144人	176人	役員会	161人	157人	定期総会	43人	42人	合計	348人	375人
年度	令和6年度	令和5年度																
4部会	144人	176人																
役員会	161人	157人																
定期総会	43人	42人																
合計	348人	375人																
住民の声(アンケートの結果等)	<p>(リーダー研修の感想、意見として)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状と課題の分析に基づくまちづくりスローガンと目指すべき将来像の設定、各目標達成に向けての具体的な取組が明記されていた。 ・広報紙に、地域内の様々な出来事を紹介することは、地域への関心を高め、ひいてはまちづくりへの関心を高めることにつながるということを考えてみる必要があると感じた ・若い子供たちが参加できる行事をやるべきだ。皆が参加しやすい行事を中学生に企画、運営をまかせてみてはどうか、参加者の輪が広がるのではないか。 ・「子どもを動かせば、大人も動く」という。子どもたちが企画し、大人がサポートする形であってもよい。 ・自治会、学校、PTA等各種団体との連携を深め活動を更に充実させたい。 																	

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	円滑な事業運営を行うために必要な事業であり、地域住民と一緒に考え、取組む必要がある。	広報	⑤事業の周知	A	A	各事業の活動を知らせるためまちだよりやFacebook、公式LINEアカウントなども利用した。
	②住民の参加	B	B	事業への参加は増加しているが、まちづくり協議会に対する認知度は、まだまだ低い。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	効率的な事務局運営、円滑な事業運営のため、まちづくり協議会の取組として妥当である。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	B	自治会、各団体等連携を図りながら進められた。清武中学校、宮崎大学の学生ボランティアの参加も多かった。	事業継続の必要性				⑦・無
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりと自治会長会との会議を2月に実施したが参加者は少なかった。今後も実施の時期や内容を工夫して行いたい。 ・地域、学校、PTA等の各種団体と情報交換や連携を深める機会を設ける必要がある。 								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>							未・済	

事業名	银杏フェスティバル事業 (事務局)	実施年数	4年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	3 えがおいっぱい～人と人がふれあい笑顔があふれるまちへ～ ・地域住民・世代間の交流の場づくり														
目的 (期待される効果)	まちづくりの拠点である清武地区交流センターや、まちづくり協議会の認知度を向上させ、住民のまちづくりへの参画や交流センターの利用につなげることを目的とする。														
事業内容・手段	<p>(1) 银杏ライトアップの実施 【時期】 令和6年10月5日(土)～12月10日(火) 【場所】 清武地区交流センター広場 【内容】 ・点灯式を行わず、紅葉時期に银杏のライトアップを実施した。 ・電気は、清武総合支所に相談のうえ、交流センターを使用させてもらった。</p> <p>(2) 银杏フェスティバルイベント「清武地区ふれあい文化祭」 【時期】 令和6年11月3日(日・祝日) 【場所】 清武地区交流センター 【内容】 ・「清武かるた遊び」を実施した。 ・「健康・福祉講演会」を多目的ホールのステージを使って実施した。 ・田野・清武地域日本農業遺産推進協議会にPRとして、大根やぐらを組んでもらい、ゲームや試食会を行った。 ・ポニーとのふれあい体験として地元の協力をもらい実施した。</p>														
事業費	468,918円														
対象者	清武地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>635人以上</td> <td>462人以上</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>100人以上</td> <td>92人以上</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>735人以上</td> <td>554人以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人数は延べ人数</p>			年度	令和6年度	令和5年度	一般参加者	635人以上	462人以上	スタッフ	100人以上	92人以上	合計	735人以上	554人以上
年度	令和6年度	令和5年度													
一般参加者	635人以上	462人以上													
スタッフ	100人以上	92人以上													
合計	735人以上	554人以上													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場もたくさんあり、ゆっくり展示物も見られました。 ・地域の人が集まれて良いと思う。 ・今日は晴天だったのでテントが一か所でもあったらと思った。 ・初めて参加しました。イベントPRをもっと広くしてほしい。 ・お野菜コーナーや出店がもう少しあると良かった。 ・出店コーナーがもう少し欲しい。 ・一日とても楽しかった。 ・ポニー乗馬体験をまたお願いします。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	银杏を見て昔を懐かしむ声が聞かれた。まちづくりが交流センターにあることを知ってもらうことにつながる。	広報	⑤事業の周知	A	B	自治会、学校を通して配布した。近隣の公共施設、保育園等にも設置のお願いをした。	
	②住民の参加	A	B	「清武地区ふれあい文化祭」として今年も交流センターと合同で実施したため住民の参加も多くみられた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	B	交流センターの認知度を高めることは、まちづくり協議会の繁栄につながることから、まちづくり協議会の取組として妥当である。		⑦住民の満足度			A	B
	④各種団体との連携	A	B	自治会、交流センター、行政、清武中学校、大学、芸文連他も連携した。また、積極的に参加も増えた。			事業継続の必要性		⑦・無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の問題や運営のあり方等の反省を踏まえ、芝生広場を駐車場として利用したことで、多くの方の来場があった。 ・展示やいろいろなコーナーを設け楽しんでもらった。 ・今回初めてポニーとのふれあい体験を地元の協力を得て実施した。大好評だったので継続する。 								
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>					対応		未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）></p> <p><意見への対応></p>					対応		未・済	

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	防犯・防災推進事業	(地域安全活性化部会)
-----	-----------	-------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	178,721	
2	繰越金	300,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計 (A)	478,721	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	備考
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	123,301	消耗品費 (カラーPPC用紙他) 4,785 円 燃料費 (ガソリン・プリカ代金) 88,770 円 食糧費 (お茶代他) 29,746 円
5	役員費	94,060	任意保険料 (自動車任意保険) 93,510 円 振込手数料 550 円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	261,360	車両リース料 (@19,800×12ヶ月×1.10) 261,360 円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計 (B)	478,721	

収支差引 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	環境美化事業	(環境福祉部会)
-----	--------	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	217,247	
2	繰越金	200,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	417,247	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	343,727	消耗品費(ひまわりの種・ビニール袋他) 324,465円 食糧費(お茶代他) 13,204円 燃料費(混合油代) 6,058円
5	役務費	1,520	保険料(レクリエーション保険) 1,520円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	72,000	耕うん機・草刈り機使用料 72,000円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	417,247	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	「清武地区のんびり歩こう会」開催事業	(文化健康部会)
-----	--------------------	----------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	56,675	
2	繰越金	50,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	106,675	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	3,000	救護看護師 3,000円
3	旅費		
4	需用費	84,175	消耗品費(参加賞パンジー・ケント紙他) 27,559円 食糧費(お茶・弁当代他) 45,616円 印刷製本費(チラシ代) 11,000円
5	役務費	5,400	レクリエーション保険料(120人延べ人数) 5,400円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	11,700	日向夏ドーム(屋内球技場)使用料・軽トラ代 11,700円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費	2,400	道路使用許可用印紙代 2,400円
13	合計(B)	106,675	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	「清武かるた」普及事業	(文化健康部会)
-----	-------------	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	145,802	
2	繰越金		
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	145,802	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	46,322	消耗品費(参加賞) 29,794円 食糧費(お茶・お弁当) 16,528円
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	99,480	体育館使用料 480円 バス代 99,000円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	145,802	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	「十九の丘」みかん育成体験事業	(地域安全活性化部会)
-----	-----------------	-------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	61,415	
2	繰越金	30,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金	83,100	参加料 (@300円×277人)
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計 (A)	174,515	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	15,000	指導員謝金・救護看護師 15,000円
3	旅費		
4	需用費	22,285	消耗品費 (レジ袋他) 6,482円 食糧費 (お茶・パン他) 4,803円 印刷製本費 (チラシ作成) 11,000円
5	役務費	10,800	レクリエーション保険料 (230人延べ人数) 10,800円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	126,430	みかん畑借上げ料・軽トラ・草刈り機使用料 126,430円
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計 (B)	174,515	

収支差引 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	清武地域まちづくり協議会だより発行事業 (広報部会)
-----	----------------------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	49,892	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	合計(A)	149,892	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	104,000	印刷製本費 (3回) 104,000円
5	役務費	45,892	新聞折込料3回分(宮日 3,300部・読売 420部・朝日200部) 45,892円
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	149,892	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	まちづくり協議会管理運営事業	(事務局)
-----	----------------	-------

(1) 収入の部 (単位: 円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	732,682	
2	繰越金	278,628	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	雑収入	837	銀行利息 (8月 126円、2月 711円)
8	合計 (A)	1,012,147	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金	2,850	賃金 (事務引継ぎ) 2,850 円
2	手当	46,200	時間外 46,200 円
3	旅費	107,100	視察研修: 旅費・日当 (@15,300×7名) 107,100 円
4	費用弁償	42,000	費用弁償 42,000 円
5	需用費	136,591	消耗品費 (コピー用紙・事務用品他) 104,645 円 食糧費 (お茶代他) 31,946 円
6	役務費	305,924	通信運搬費 (電話・インターネット・切手他) 253,724 円 振込手数料 8,800 円 保険料 (ボランティア保険) 43,400 円
7	委託料	96,000	桜植栽管理費用 96,000 円
8	使用料及び賃借料	250,682	コピー機リース料・バス借上げ用 250,682 円
9	工事請負費		
10	原材料費		
11	備品購入費	24,800	ネットワークハードディスクシステム 一式 24,800 円
12	積立金		
13	公課費		
14	合計 (B)	1,012,147	

収支差引 (A) - (B) 0

(様式第6号)

事業別収支計算書

清武地域自治区
清武地域まちづくり協議会

事業名	银杏フェスティバル事業	(事務局)
-----	-------------	-------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	355,608	
2	繰越金	100,000	
3	自己資金		
4	協賛金		
5	負担金		
6	補助金		
7	解約払戻金		
8	雑収入	13,310	飲み物売上として
9	合計(A)	468,918	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	6,000	出演料 6,000円
3	旅費		
4	需用費	173,178	消耗品費(カラー用紙他) 39,091円 食糧費(お茶・お弁当・景品他) 118,187円 印刷製本費(ふれあい文化祭ポスター・チラシ) 15,900円
5	役務費	4,240	傷害保険料 4,240円
6	委託料	285,500	ステージ・音響照明 ・ふれあいポニー・警備費 285,500円
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	公課費		
13	合計(B)	468,918	

収支差引(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和7年5月16日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市清武町今泉甲 2694 番地 3
名 称	清武地域まちづくり協議会
代表者の氏名	会 長 落 合 善 典
電 話 番 号	0 9 8 5 - 8 4 - 5 2 0 0

令和6年6月14日付で変更交付承認のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、決算において、962,926円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届け出ます。

添 付 書 類

令和6年度収支決算（見込）書

(様式第8号)

令和7年3月31日

令和6年度 清武地域まちづくり協議会への意見書 [事業実施報告]

清武地域自治区地域協議会
会長 野田 三津枝

令和6年度の清武地域自治区の地域まちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていまして、承認いたします。

記

1 総括

地域住民の生活意識向上のため、地域にあったまちづくり活動を実施されている。

なお、地域住民がより一層まちづくりに参画されるよう、今後も事業の周知方法や他団体との連携について検討をお願いしたい。

2 事業の推進体制

特になし。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
	特になし。

4 その他

特になし。